電気自動車を導入!!

～エコのまち・大磯を目指して～

エコのまち・大磯の取り組みの一環として、電気自動車を導入します。

電気自動車は、有害ガスを出さない環境対策車として注目を集めています。

今後、環境に関するイベントや町の行事等で町民のみなさんにも電気自動車を体験していただくなど、積極的にPRしていきます。

▲導入する電気自動車（４人乗り）

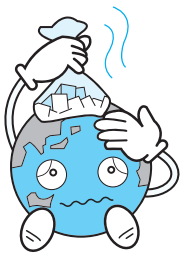
【急速充電器も設置】

電気自動車の充電は、家庭用電源で行えますが、電気自動車を広く普及させ町民の方が無料で利用できるよう、急速充電器を本庁舎駐車場内に設置します。

地球温暖化に向けた取り組みの実践

12月は地球温暖化防止月間です。

ぜひこの機会に地球温暖化防止について考えていただき、二酸化炭素の排出量の削減のために一人ひとりができることから実行してみましょう。



○水道の使い方で減らそう

シャワーの使用を1日、1人1分、家族全員が減らそう。

▼年間約69kgのCO_2の削減

▼年間で約7,100円の節約

○温度調節で減らそう

暖房の温度を1℃低く設定しよう。

▼年間約33kgのCO_2の削減

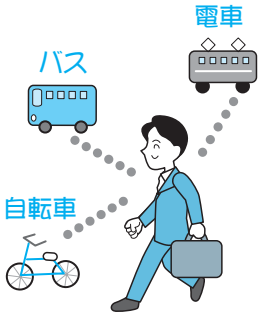
▼年間で約1,800円の節約

○マイカー利用抑制で減らそう

週2日往復8kmの車の運転をやめ、バスや電車、自転車に変えよう。

▼年間約184kgのCO_2の削減

▼年間で約9,200円の節約



○電気の使い方で減らそう

使っていない電化製品の主電源は切ろう。長時間使わない時は、コンセントを抜こう。

▼年間約60kgのCO_2の削減

▼年間で約3,400円の節約

○環境にやさしい製品を使用しよう

Rマークやエコマークがついている再生紙など環境にやさしい製品を使うよう心がけよう。

◎問い合わせ

環境経済課　☎内線359

ごみ処理広域化

シリーズ vol.5

私たちが行うことは？

ごみの分別収集体制の統一

町で処理してきた多くのごみは、平塚市の処理施設で処理されることとなりますので、分別方法が一部変更になります。

現在、分別方法の変更に向けて検討を進めています。説明会などを通じて町民の皆様にお伝えしていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

減量化・資源化の実践

ごみの減量化・資源化はごみ処理経費の削減に有効です。

ごみを正しく分別することで、焼却する量が減るとともに、資源化する量を増やすことで、環境にやさしい生活を送ることができます。

経費削減と地球温暖化防止のために、ごみの減量化・資源化の実践にご協力願います。

【具体的な実践例】

○雑紙（ざつがみ）の資源化

葉書、レシート、メモ用紙、お菓子の空き箱などいわゆる雑紙は資源化できます。

雑誌の中に挟むか、紙袋の中にまとめて入れるなど工夫し、古紙・古布の収集日に出して下さい。

○新聞紙の新聞販売店回収の活用

従来どおり、町でも回収しますが、新聞販売店に回収制度がありますので、積極的に活用してください。

○マイバッグ持参運動

1年間のうち、1人が使用するレジ袋は300枚と言われています。

マイバッグの普及率が50%になると、年間約48tのごみ減量に（32,000人×50%×10g×300枚）つながりますので、マイバックを持参して、出来る限りレジ袋は断りましょう。

おわりに

連載は今回で終わりますが、今後も、ごみ処理広域化に関する情報は随時お知らせしますので、ご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ

環境経済課　☎内線359